

MJプラス 社会のまとめ上

- 1 太郎さんと花子さんは授業でゴミ問題について先生と話をしました。
あとの(1)、(2)に答えましょう。

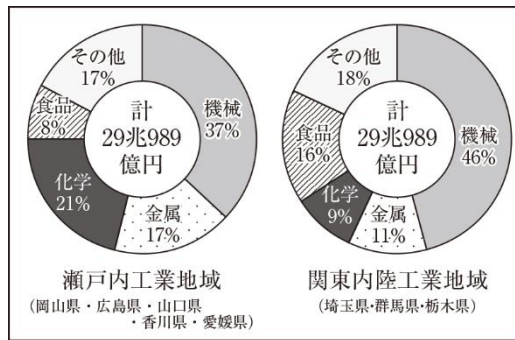
太郎：最近プラスチックごみのことが問題になっていますね。

花子：プラスチックは軽くて丈夫だけど、自然に分解されないものもあるから困ると聞きました。プラスチックはどのように作られているのですか。

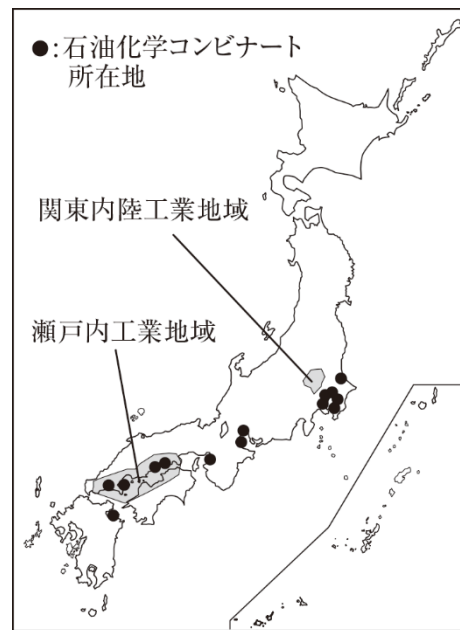
先生：プラスチックは石油を原料として石油化学コンビナートなどで作られています。

- (1) 資料1と資料2を関連させて、関東内陸工業地域とくらべた瀬戸内工業地域の特色を、解答らの書き出しに続けて説明しましょう。

資料1 工業生産額のうちわけ (2016年)



資料2 工業地域と石油化学コンビナートの分布



瀬戸内工業地域は

先生：では、プラスチックごみはどのように処理されているのでしょうか。

花子：リサイクルされていると思います。

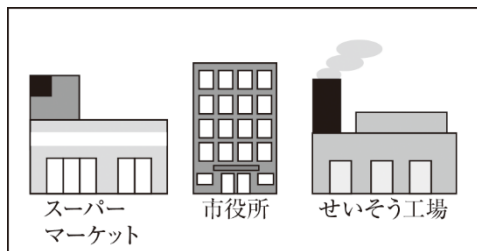
先生：リサイクルとは「再資源化」のことですね。それではプラスチックのリサイクルはどのように行われているのか、調べてみましょう。

(2) プラスチックのリサイクルの取り組みについて調べるために、街に取材に出かけました。

ア 資料3のスーパーマーケットか市役所のどちらかを取材します。取材する施設を選んで、あなたが取材したいことを、その施設が行っている「リサイクルの取り組み」に関連づけて書きましょう。

イ 資料4は、せいそう工場に取材に行ったときにもらったパンフレットに書かれていたものです。資料の数量または割合に注目して、あなたが考える「リサイクルの課題」と、「なぜそのことを課題と考えたか」を具体的に説明しましょう。

資料3 街にある施設



資料4 日本のプラスチックの処理
・処分の内容 (2017年)

		万 t	%
リサイクル	国内処理※1	108	12
	輸出※2	143	16
	エネルギー回収※3	524	58
未利用	単純焼却※4	76	8
	うめ立て	52	6
合計		903	100

（一般財団法人プラスチック循環利用協会
「プラスチックリサイクルの基礎知識」、
財務省貿易統計から作成）

- ※1国内処理：国内の工場で再資源化の処理をする。
- ※2輸出：国外に輸出してリサイクルしてもらう。
- ※3エネルギー回収：燃やした熱を利用する。
- ※4単純焼却：熱などを利用することなく焼却する。

ア	
イ	

MJプラス 社会のまとめ上 解答

①(1) (瀬戸内工業地域は) 関東内陸工業地域とくらべて石油化学コンビナートが多い。そのため、工業生産額にしめる化学工業の割合が高い。

(2)ア (スーパーマーケットを選んだ場合)

スーパーマーケットでは、ペットボトルや空きかんを集めています。集めたペットボトルなどを、どのようにしてリサイクルしているのかについて、調べてみたいです。

(市役所を選んだ場合)

市役所は、燃やすごみとプラスチック容器などの資源を分けて出すように市民に求めています。回収したプラスチック容器などが、どのように再資源化されているのかについて、取材してみたいと考えました。

イ エネルギー回収として、524 万 t のプラスチックが焼却されていることを課題だと考えました。524 万 t のプラスチックの中にリサイクルしやすいものがふくまれているのであれば、それらを国内処理した方が資源を大切にできると考えたからです。

②(1)①(例)大きく車いすの絵がかかっている。

②(例)ここを利用できる人は、身体障害者、妊婦、高齢者など歩行が困難な方に限られます。

③(例)記号 A(または、D)

理由：建物の出入口に近いので、歩行が困難な人には便利だから。

(2) (略)